

令和5年度（2023年度） 自己評価結果（概要）

1. 福祉サービス事業者

(1) 事業者概要

事業所名称： (施設名) 済生会かがやき	種別：多機能型事業所 (就労移行支援・就労継続支援事業A型及びB型・就労定着支援)
代表者氏名：支部長 副島秀久 (管理者) 所長 宮川 栄助	開設年月日： 平成24年 3月 1日
設置主体：社会福祉法人 ^国 済生会 経営主体：済生会熊本福祉センター	定員：40名 (利用人数) 36名
所在地：〒861-4127 熊本市南区内田町3555-1	
電話番号：096-223-3255	FAX番号：096-223-3429
ホームページアドレス http://sk-fukushi.jp/work/kagayaki.htm	

(2) 基本情報

サービス内容（事業内容）	施設の主な行事
就労継続支援A型（病院清掃業務）定員10名/現員12名 就労継続支援B型（清掃・カフェ）定員24名/現員22名 就労移行支援 定員6名（現在休止中） 就労定着支援（現在休止中）	レクリエーション活動（秋・春（予定））、忘年会（12月）、秋まつり（11月）、地域清掃や余暇活動（土曜：A型・B型/）、かがやき便り（一回/月）

2. 事業所の特徴的な取組

就労継続A型とB型は、済生会熊本病院内において清掃業務の受託及びカフェの運営を行っており、病院が取り組み、3年ごとに更新している「JCI（国際的医療機能評価機関）」の受審に対して、受託側としてマニュアルの整備や研修会への参加など質の向上に向けた取り組みを行っている。また、利用者は一般社会の中で働くことで、挨拶や身だしなみ等の社会性を身に付け自立が図られている。

3. 評価結果

該当項目数	37項目
非該当項目数	5項目

◆評価できる項目

○利用者の自立に向けた取り組みの実施

・利用者自治会では、利用者の意見や要望を行事や日中活動の内容に反映することで、利用者自身の意思決定支援が図れている。またA型では、社会マナーや様々な技術や資格の取得を目的として「社会適応プログラム」を提供しており、一般就労に向けた取り組みを行っている。

○就労継続支援A型事業の平均労働時間管理

・就労継続支援A型事業の平均労働時間は、1日7時間以上、週5日の勤務であり、社会保険や健康診断などの福利厚生面でも配慮している。また最低賃金支給への対応も行っており、利用者の自立に向けて取り組んでいる。就労継続支援B型事業についても6時間勤務で平均工賃についても県の平均を上回る賃金の支給を行っている。

◆努力すべき項目

○就労支援事業の不振

・新型コロナは5類となったが、病院においては見舞い等の規制内が続いており、特にカフェ部門での営業においては集客拡大が見込めない状況にある。現在は外部への営業活動を強化して現状の改善を図っているが、今後については院内においても様々なイベントを打ち出すとともに、経費削減にも努め利益を出す努力を進めていきたいと考えている。

○利用者の確保

・過去には体験学習会や実習の機会により、かがやきが行う院内での事業内容や職場環境の紹介することができ、新たな利用者が確保出来ていたが、院内での業務であるが故、体験学習会の中止や実習の機会減少などもあり、来期における新たな利用者は確保できていない。今後はSNSなど様々なツールを利用して、支援学校や相談事業所などとの連携を強化して、かがやきの事業所紹介を強化したい。